令和5年度 福岡県相談支援従事者現任研修
【更新者コース】

演習資料（3日目）②

C日程：1/11（木）
D日程：1/19（金）

一般財団法人保健福祉振興財団

研修3日目・講義

【事例に基づく演習への導入講義】

相談援助に求められる多職種連携

及びチームアプローチ

本科目のねらいとポイント

【科目のねらい】

- 他の多様な職種に対する理解・尊重に基づいてチームを組織し、円滑に機能させるための技術の向上を図る

【ポイント】

- 知識と実践（事例）の結び付け

①多職種連携及びチームアプローチ

②ケアマネジメントプロセスとの関係

③チームによる支援

④地域の社会資源へ

多職種連携　～違いがあってあたりまえ～

なぜ多職種連携が必要なのでしょう…

- 障がいの有無に関係なく、私たちの生活課題は多様で複雑化している
- １人の専門職、一つの機関だけでは対応することが難しい
- ライフステージの中で生じる様々なニーズや課題は、福祉に限らず、医療や教育などの専門職、時にはインフォーマルサービスも含めて、本人を取り巻く関係者が連携する事が強く求められている

多職種連携のメリット・デメリット

【メリット】

- 利用者の問題解決
  - ・適切な計画　・迅速な実施
  - ・創造的解決　・質の向上
- 効率性
  - ・より多くの資源を最大限に活用できる
- 専門職の利益
  - ・能力向上　　・人格発達
  - ・情緒的支援

【デメリット】

- 利用者の不利益
  - ・依存性を増やす可能性
  - ・個人情報が漏れやすい
- 非効率性
  - ・意見調整に時間がかかる
- 専門職の不利益
  - ・役割混乱や葛藤の出現
  - ・意見の斉一性から圧力

多職種連携・チーム支援の重要性の5つの認識

1）多元性

多様な「ニーズ」や「社会情勢」の変化に対応するため

2）限界性

1人の相談や一つの機関でできる事には限りがあるため

3）可能性

連携やチームでの対応により、できる事やアイディアが広がる

4）補完性

得手・不得手、過不足を相互にカバーし、補完し合える

5）付加性

自分や事業所、連携機関含め地域支援力の向上につながる

あなたも私も　～アサーティブな関係づくり～

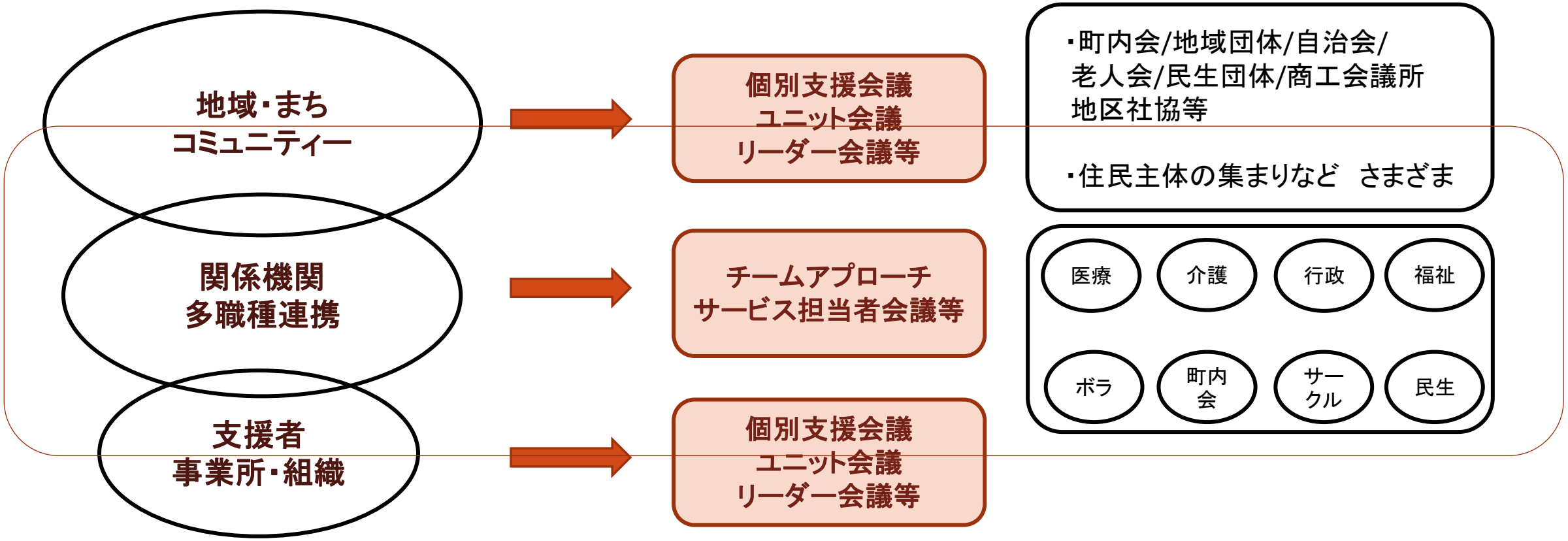
- 職種の違い・専門性の違い（それぞれの背景や役割）
  ＊自己理解と他者理解

- アセスメントの共有（本人を多面的に捉える）

- 本人中心の支援へと結びつけるチーム作り
  ＊単なる「連携」ではない

チームによる支援から地域へ

範囲から見たチームアプローチ



チームで何を目指すのか？～どんな会議が好きですか？～

- 会議の準備
  - ＊本人との丁寧な打ち合わせ
  - ＊事前調整（日程や場所など）における配慮
  - ＊多職種チームの一員である事の意識づけ
- 会議のポイント
  - ＊会議の目的やルールの確認
  - ＊会議の進行レジュメの事前配布
  - ＊内容・目的によって参加者を選定
  - ＊共通理解するためのツール

少しだけ相手の事を思い、
お互い様の関係である事を忘れずに…
スムーズな会議ができる工夫を…

チームで大切にすべきこと

- 本人が思い描く生活とは
  - ＊「総合的な支援の方針」の中身
  - ＊前提として共有する事で、「中立性」の担保と「本人中心」支援の成立
- 共有と落とし込み
  - ＊サービス管理責任者や他支援者と共有し、実行に移せるか
  - ＊「目指すところ」を意識へ落とし込む→各個別支援計画への反映

本人を含めたチーム全体が、同じ方向を向いている事が大切

モニタリングの大切さ

- チームで点検すること
  - ＊現状の支援と進捗の再確認→「本人の権利を守る」
- 「めざすところ」の次のステップへ
  - ＊生活状況の変化や、十分にエンパワメントされている事が確認された場合
- 中立的、客観的な視点を持ちつつの連携
  - ＊サービスや支援の一定の定着は必要…

でも、「漫然」や「抱え込み」とならないように…

支え合いながらのチームアプローチ

- 個別支援から地域連携へ…そして「地域の中での仕組みづくり」へ
  - ＊個別支援を通して、チームとしての組織化…そして地域へ
  - ＊相談支援専門員は、個別レベル・組織レベル・地域レベルの次元を行き来する
- 単独では成しえないからこその多職種連携
  - ＊公私を問わず、日頃から「顔が見える関係性」の構築を

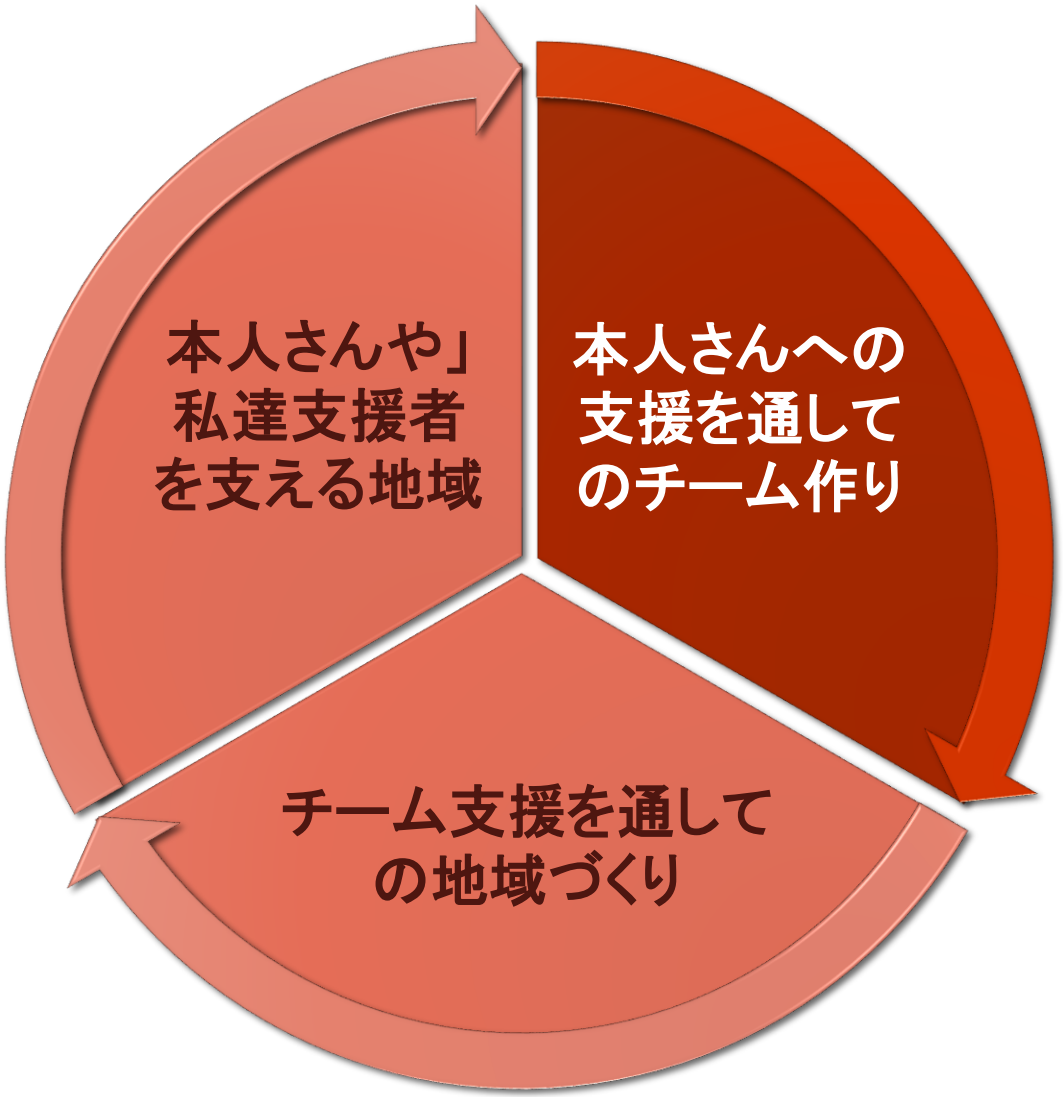
私（支援者）を支えてくれるネットワーク＝本人を支えてくれるネットワーク

改めて…　～地域生活を支援するということは～

- 視点の違いを活かしながら…
- 俯瞰的に本人の生活全体を掌握しながら…
- チームで関わる事の必要性を大切にしましょう

地域での（あるいは入所施設であっても）本人さんの生活ぶりを地域へどのように伝えるか…

最後に ～チームアプローチを通して～



- 一つ一つの出会いから
- 一緒に喜び、悩み、支えあいながら
- お互いに尊敬し、思いやりの気持ちを大切に
- 目の前の支援チームが、また新たなチームへつながり、地域へつながりますように・・・

御清聴ありがとうございました

参考・引用文献

〇障害者相談支援従事者研修テキスト　現任研修編

日本相談支援専門員協会（中央法規）

〇多職種連携の技術

野中 猛（中央法規）

〇障がい者ケアマネジメントの基本／実践 障がい者ケアマネジメント

東 美奈子・大久保 薫・島村 聡 （中央法規）

〇令和3年度　福岡県相談支援従事者現任研修資料

丹下優子・前田秀和